

広報



第488号

あぐね



(漁民運動会 9月6日)

62年
9月号

さあ
スポーツの秋です
健康の汗を
流しましょう!

市民こそって参加しましょう

第11回市民運動会

期日 10月10日(土)体育の日

場所 総合グラウンド

おじいちゃん おばあちゃん もつともつと元気で長生きを!!



阿久根校区老人スポーツ大会でかわいい孫と一緒に応援するおじいちゃん、おばあちゃん

豊かな知識と
経験教えて
若い人たちと
話し合う場を

九月十五日は敬老の日、この日は多年にわたり社会につくしてこられたおじいちゃん、おばあちゃんを敬愛し、長寿を祝う日です。今年も各地区で敬老行事が開かれたことと思います。おじいちゃん、おばあちゃんが主役の運動会や婦人会の皆さん方の手料理を食べながら歌や踊りのプレゼントなど、それぞれの地域の皆さん方がおじいちゃん、おばあちゃん方に楽しんでいただき、もつともつと長生きをしてもらいたいという真心のこもった敬老行事であったらうと思います。

現在、日本人の平均寿命は男性七十五・二歳、女性八十・九歳であり、人生八十年の時代を迎えています。

市内をまわってみますと、必ずといっていいほど目につくのがおじいちゃん、おばあちゃんたちのゲートボールです。雨の日も、夏の太陽が照りつく暑い日にも毎日のようにゲートボールを楽しまれています。

また、中央公民館や地区公民館などでは、お年寄りの皆さん方を対象とした「光輝大学」や「高齢者大学」が行われ、踊りや書道など、いろいろなものに挑戦され、楽しく晴らなから受講されています。

これらは、おじいちゃん、おばあちゃんにとっては生きがいの一つであり、無理のない楽しい生きがいを見つけ、毎日を送ることが健康の秘訣であるとともに、長生きできる大きな要因であると思います。

また、おじいちゃん、おばあちゃんの豊かな知識と経験が十分に

生かされないのは大きな社会的損失でもあります。

「お年寄りが出過ぎてはだめ」という考え方はすでに、各地域での活動にも積極的に参加し、若い人たちと一緒に活動することが大事であるとともに、そうすることによって自分自身の生きがいにもつながってくるのではないかと思います。

おじいちゃん、おばあちゃん、ちよつと勇気をだして若い人たちの中に入って話をしてください。そこから自然に楽しみがで、生きがいが見つけられ、また、若い人たちは、おじいちゃん、おばあちゃんの手持っている豊かな知識と経験を教えていただくことを願っているのではないのでしょうか。



高齢者大学で踊りの練習をするおばあちゃんら (大川)

市内の最高齢者

女性では

奥平キサさん(100)

中屋敷区

明治19年10月2日生

男性では

浦嶋森蔵さん(96)

臨本浜区

明治24年6月1日生



95歳ですが、まだ元気に農作業にがんばっているっしやる
知藤ヨ子さん(田代下区)明治25年7月3日生



市内90歳以上は101人 昭和62年9月10日現在(年齢は15日現在)

<p>100歳 奥平キサ(中屋敷) 99歳 山本チヨ(上野) 橋之浦キク(新町) 97歳 中湯平ワカ(荻野) 96歳 假屋イロ(上野) 成尾ルイ(新町) 餅越セン(弓木野) 浦嶋森蔵(臨本浜) 95歳 柏木清一郎(仲仁田) 松林采吉(柞) 村田エノ(大丸) 知議ヨ子(田代下) 94歳 尻無濱フジ(尻無下) 的場ツヤキク(的場) 松永アキ(牛之浜) 濱崎典八(佐湯) 高良武敏(大丸) 宮田サヨ(波留) 濱崎タセ(町) 築地フルマツ(段) 大鹿チヨマツ(大鹿)</p>	<p>93歳 田口カツ(佐湯) 川畑スツノ(湯) 新蔵巳之助(新町) 前田金吉(弓木野) 高原ツル(柞) 出水アイノ(下村) 山平ウメギク(小瀧) 92歳 下菌ムメキク(尻無上) 若松サヨ(尻無上) 若松正一(尻無上) 奥平サカヘ(中屋敷) 牛之濱ナツ(牛之浜) 牟禮ワセ(牛之浜) 馬見塚ヨ子(馬見塚) 西田駒助(高之口) 猿桑ミヤ(佐湯) 奥國義(大丸) 坪久田チセ(波留) 宮園シモ(波留) 新塘庄吉(高松) 東半助(高松) 岩切アサキ(浜) 中池ユキノ(上野) 小牟田キク(上野) 脇園イロ(上野) 上野ヤエ(羽田)</p>	<p>國田貞義(桑原城下) 大尾ミサ(大尾) 牧尾休次郎(黒之上) 竹原伊助(八郷) 91歳 鶴園ナヲ(尻無中) 奥平コヤノ(中屋敷) 川畑ヒサマツ(川畑中) 西田ヨシ(高之口) 池上茂市(大丸) 宮田エタ(波留) 勝目テル(高松) 小田原九蔵(浜) 有田シナ(上野) 橋口モヨ(上野) 坂口三五郎(上野) 垂ア(上野) 石澤章(山下馬場) 大尾三助(大尾) 中園フルマツ(牧内) 三明聖典(永田下) 荒田フサキク(上原) 笹原ケサマツ(桐野上) 大野キオ(桐野下) 山下半兵衛(橋之浦西) 大鹿ハツカメ(大鹿) 90歳 下菌シラノ(尻無上)</p>	<p>若松敏(尻無上) 川畑伊勢菊(的場) 神之田ハツキク(的場) 春田スワ(的場) 神之田勇助(仲仁田) 神之田テヲ(仲仁田) 牛之濱ススミ(牛之浜) 中村セニツ(牛之浜) 新柞紋太(飛松) 西園栄吉(高之口) 倉津キヨ(倉津) 倉津サエ(倉津) 崎山鈴(町) 奥平ミヤノ(浜) 鶴崎トメ(上野) 磯畑イツノ(新町) 中野ジキノ(新町) 坂井ソノ(新町) 本田ツルノ(遠矢) 折橋トキノ(弓木野) 永井野末吉(尾崎) 宮園勇吉(荻野) 寺園イセ(大下) 東新小次郎(牟田) 大川内エキ(上原) 池崎ナカ(桐野下) 小村ツルマツ(瀬之浦下) 洲崎チカ(黒之浜)</p>
--	--	---	--



勇壮ペーロン競争復活でにぎわった新港

笑って楽しい汗 吹きとんだ夏まつり

(写真特集)

八月八日、九日の両日、市勢発展、商工振興、農作、大漁を祈願して伝統の夏まつりが行われました。

まつりのハイライトは何といてもハンヤ節踊り。市内の事業所など五十六団体、約三千人が参加。今回は坂道十箇所に投票箱を設け、市民の皆さんが審査員となり踊り連のコンクールを実施しましたが、例年以上に盛り上がりを見せ、にぎやかな楽しい踊りになりました。

また、市内の歌自慢が集まり、ノドを競ったカラオケ大会。テレビでおなじみのバツテン荒川さんのユーモアあふれる話に涙がでるほど笑った演芸大会。一チーム八人で「もう綱を見るのもいや」というほど力をだした綱引き大会。二年ぶりに復活した勇壮なペーロンと和船の競争大会。最後は、夏の夜空に打ちあげられるたびに歓声があがり、夏の暑さの疲れを吹きとばしてくれた花火大会など、いい汗かいて、笑った楽しい夏まつりでした。



約3,000人が参加して楽しい汗をかいたハンヤ節踊り



かわいい子どもたちによる音楽パレード



どこの人たちがな？がわいい大きな腹です



「さあ祭りだワッショイ、汗ビッシュヨリ」の青年会議所のみなさん



ハンヤ節を盛りあげた初登場の「光強太鼓」



踊っていい汗
暑さも

テレビでおなじみ「ハッテン荒川ショー」では笑いがいっぱい(新港)

ハンヤ節踊りコンクール (56団体 3,000人参加)

- 踊り上手連賞 浜婦人会
- きれいだった連賞 木ノ花流
- ユニーク連賞 ショッピングセンターバル
- かわいかった連賞 大丸町通り会
- ハッスル連賞 ㈱阿久根ゼンチク
- 仮装大賞 NTT阿久根電報電話局
- 仮装優秀賞 阿久根市役所

カラオケのど自慢大会 (27人参加)

- 優勝 中面 さゆり (折口東)
- 2位 上野 浩司 (荻野)
- 3位 福添 正純 (中村)

綱引き大会 (1チーム8人 12チーム参加)

- 優勝 黒之浜漁協青年部
- 2位 4Hクラブ
- 3位 ㈱上野製作所

ろこぎ競争大会 (1チーム4人 8チーム参加)

- 優勝 赤瀬川
- 2位 倉津 C
- 3位 新町

ペーロン大会 (1チーム18人 15チーム参加)

- 優勝 阿久根市漁協青年部 A
- 2位 黒之浜港網船団 A
- 3位 市水産課 O B



踊り上手連賞の浜婦人会の皆さん



綱引き大会で応援と選手が一体となって優勝した黒之浜青年部の皆さん



アルバム

731211内214へ



県内を一周

楽しい列車の旅

脇本小学校3年生親子会

脇本小3年生の親子会では、夏休みの楽しい思い出にと八月二十日、二輛の列車を借り上げて県内一周の列車の旅を実施しました。参加者は三年生の子どもと父兄や兄弟ら約百三十人。午前八時三

十分折口駅を出発し、西鹿兒島、単人駅をまわり栗野では楽しい昼食会やプールでの水泳、そのあと大口、水保をまわり、にぎやかな夏休みの思い出の一ページをつくりました。



きれいに大きく育て、キジを放鳥

～ 獺友会 ～



市獺友会と脇本地区獺友会では八月十七日、キジの幼鳥五十羽ずつを放鳥。このキジの幼鳥は出水農林事務所からの提供。会員らの手で折口地区と脇本地区の原野に手放されたキジは、うれしそうに元気よく飛び去っていきました。

交通安全はみんなの願いです

全国キャラバン隊歓迎セレモニー

全国に交通安全を訴えるキャラバン隊の歓迎セレモニーが8月29日、市役所前で行われました。セレモニーには市交通安全母の会やボーイスカウトなど約300人が参加。キャラバン隊へ花束の贈呈や交通安全宣言などが行われ、参加者らは交通事故のない明るい社会づくりをめざすことを誓っていました。





みんなの

行事・催し物など
お寄せ下さい。

今年もチビッ子名選手たち集まり

アギヤカに熱戦を展開

全九州小学生男子女子ソフトボール大会

昨年引き続き今年も八月二十二日、二十三日の両日、総合運動公園ソフトボール場と総合グラウンドで全九州小学生男子女子ソフトボール大会が盛大に開催されました。

当市からは開催地代表ということであ久根ソフトボールスポーツ少年団（男子）が参加し、一回戦は沖縄県の古堅南クラブに十三対七で勝ちましたが、準々決勝で昨年の優勝チームの堀一方ソフトボール少年団（宮崎県）に二対一で惜しくも敗れました。



中学生バレーボール
鶴川内チームが優勝

市子ども会球技大会

市子ども会球技大会が8月18日、勤労者体育センターで開催されました。

小学生のソフトボールは雨天のため中止、中学生のバレーボールだけを実施。多くの父兄らが応援する中、熱戦が展開され、決勝戦は接戦の末、鶴川内チームが瀬之浦上チームを2対1で下し優勝しました。なお、3位は尾崎と仲仁田チームでした。



全国大会で大活躍

あ久根海洋少年団

日本海洋少年団全国大会が8月1日から3日まで長崎県の佐世保市で開催されました。

大会には全国から106団、約3,000人が参加。あ久根海洋少年団は手旗送受信で24人が満点賞を受け、水泳では浜崎大輔くんが小学生男子50m平泳ぎで優勝するなど、各種目とも上位を占め大活躍しました。

なお、指導長として福原良弘さんが表彰されました。





多くの市民の前で熱弁をふるった弁論大会

堂々と熱弁をふるう

市長賞に折橋かおりさん(小学生)と
陳園 倫代さん(中学生)

—市少年少女弁論大会—

今年で第五回目を迎える市少年少女弁論大会が八月二十五日、中央公民館で開かれました。大会には市内小中学校の代表者で小学生の部に十一人、中学生の部に六人が参加。

「阿久根文旦の将来に思う」もつと考えよう阿久根の農業」住みやすく美しい阿久根に」など、自分の訴えたいことを五分以内にまとめて熱弁をふるい、会場に集ま

つた約三百人の父兄や友だちから大きな拍手を浴びていました。成績は次のとおりです。(敬称略)

▼小学生の部
市長賞 折橋かおり(尾崎小) 議長賞 太田響子(福本小) 教育長賞 松下直樹(大川小)

▼中学生の部
市長賞 陳園倫代(鶴川内中) 議長賞 寺地英隆(大川中) 教育長賞 坂上磨美(三豆中)

あくね文旦の将来に思う

尾崎小 六年 折橋かおり



私たちが毎年出している文旦文通の返事に「お父さん、お母さんの手伝いをして、いつまでも、このおいしい文旦を作ってください」というはげましのことをよくいただきます。

でも、阿久根の文旦生産は、このはげましのことばにこたえられない様子を現状なのでしょう。私は、よく父母の話や近くのお

大人の方々のあきらめにも「ぐち」を聞く時、この様な思いが自然に高まってきて、やりきれない思いがするのです。

私達の地域には、文旦振興会という組織があります。

私はどうしても、納得のいく話が聞きたくて、振興会の会長さんである盛水さんの家を夏休みになつたある日、たずねてみました。

盛水さんは大変喜んで下さって、私にもわかり易いように、文旦づくりについて、いろいろと教えて下さいました。

今、なぜ「あくね文旦」が頭打ちなのかという事や「あくね文旦」の欠点と今後の対策」等についても教えて下さいました。

そして最後に、「これが一番なのですが」と前置きされてから「これからの文旦づくりで最も大事な事は、新しい労働力、すなわち、後継者づくり」なのです。

後継者がいないと、思い切った事は何もできません。

六年生のあなたには、わかりにくいかも知れませんが、「私に何かできる事は無いのだろうか。何かしなければ」

と何か胸のふるえてくるような思いがしてなりません。

又、阿久根市農協でも、文旦の振興の為に出荷対策や品種改良などを、生産農家と一体となつていろいろ工夫し、努力されている事がわかりました。

私は盛水さんの話や市農協の今後の対策などを知り、私なりに「これからどうすればいいのだろうか」といろいろ考えました。

そして、私のたどりついた結論

は、「あくね文旦王国」を設立したらどうかという事でした。

尾崎を中心とした文旦王国の設立がそして、その王国ですばらしいアイデアを次々と実現させていけたらどうでしょうか。

王国に運輸道を設け、そこでは農園からお茶の間へ、をキャッチフレーズに「ふるさと宅配」を積極的にすすめて、全国に名を広めていく。

又、技術研究所では、加工品の開発や消費者の求める文旦への品種改良をすすめる。

そして観光客では、文旦がいろいろ楽しい催し物を計画したくさんの人々を呼び込む。

などと、私の夢は限りなく広がっていくのです。

「文旦はもうだめだ」という前に、もっともつとやってみる事があるのではと私は思うのです。

しかし、一番大事なのは、盛水さんのおっしゃる通りに、私たちがふる里に残り、あくね文旦の振興につくす気がいを持つ事だと思います。

今はまだ、文旦文通以外に役に立てませんが、いつかは私達も、「ふる里、あくね」の為に役にたきたいと思うのです。

あたりまえのこと

鶴川内中 三年 陳國倫代



まずはじめにみなさんに一つの詩を紹介します。

「あたりまえ……」

こんなすばらしいことをみんなは、なぜよろこばないのでしょうか。あたりまえであること、父がいる、母がいる、手が二本あって、足が二本ある。行きたい所へ自分で歩いて行ける。手をのびせばなんでもとれる。音が聞こえて声が出る。こんな幸せが他にありませんか。しかしどれもそれをよろこばない。あたりまえだと笑ってすます。食事が食べられる。夜になるとちゃんと眠れ、そして又朝がくる。空気を胸いっぱいにする。笑える。泣ける。叫ぶこともできる。走りまわれる。みんなあたりまえのこと。そのありがたさを知っているのは、それをなくした人達だけ。なぜでしょう。」——〇〇

これは体に障害をもった人が、書いた詩です。私はこの詩を聞いた時、胸の痛みを覚えました。私には、ご覧の通り、手も二本ありますし、足も二本あります。ほとんどの人にとって、あたりまえの事だと思えます。しかしこれに気がついたら、どうも「あんなに強くなる、生きていく事ができたでしょうか。おそろしく

できない事でした……」

「あんな、ええなあ」

という言葉にふとふり返ってみると、足の不自由なおじさんが、私の方に近づいてきました。そして私にこう言ったのです。

「体は大切にせなあかん。こんな体になつたら、どうもけん。でもおじさんは負けとらんぞえ」

私は「おじさんは負けとらんぞえ」という言葉が印象的で今も心に強くひびいています。

ここにきて私は、何か今までに見た事のないような目新しいものや、珍らしいものを見たわけでは

ありません。でもこの人達を見ていると、生きるってなんだろう。幸せってなんだろう。そんな事を考えずにはいられなくなりまし

た。私はまた身体障害者とは別に社会的に弱い立場であるお年寄の事について考えてみました。私達鶴川内中では、年に二回ボランティア活動として老人ホームである「蓮の実園」を訪ねます。そこには目の見えないお年寄が大勢います。目の見えないという事は私達の想像をはるかにこえる苦しさがある

と思います。試しに目を閉じてみて下さい。普通の人ならせいぜい五分もたつとがまんしきれなくなると

思います。でもこのおじい

さん、おばあさんは一生目の見え

ないまま過すのです。

しかしおじいさん、おばあさん一人一人の顔には、いつもほほえましい笑顔がありました。胸が

つくくなるような笑顔でした。

交歓会が終わってお年寄の方々の話らしい活動がはじまりました。私は二人のおばあさんと話をする

ことになりました。そのおばあさんは私に「兄弟は何人じゃつと

あ」「家はどこなあ」と次から次にたくさん質問をしました。私

はその時思いました。(きつとこ

のおばあさんは、きみしいにちがいない)と……私は一つ一つの質問をしっかりと答えるようにしました。そしてこのおばあさんに私の気持ちが通じればと思いました。

これから先どんなにつらい事や苦しいことであろうかもしれない。しかしその時はあのおじいさんの一言「負けとらんぞえ」という言葉が私を勇気づけ、はげましてくれると思っています。いや、このことが私がやらねばならない「あたりまえのこと」なのです。

私の姉は社会福祉関係の仕事に務めています。私は去年そこを訪ねてみました。そこには車椅子に乗った障害者や白い杖を持って歩いている人、口のきけない人と体にハンデを背負っている人が大勢いました。しかしその人達は身体に障害があるという事にもめげずはちきれんばかりの明るさにあふれているのです。信じられない光景でした。一人一人が助け合い、何事にも一生懸命取り組む姿が、とてもすばらしく私の目には写りました。私がおしこの人達の立場であつたらどうだつたでしょう。あんなに強くなる、生きていく事ができたでしょうか。おそろしく

できない事でした……」

「あんな、ええなあ」

という言葉にふとふり返ってみると、足の不自由なおじさんが、私の方に近づいてきました。そして私にこう言ったのです。

「体は大切にせなあかん。こんな体になつたら、どうもけん。でもおじさんは負けとらんぞえ」

私は「おじさんは負けとらんぞえ」という言葉が印象的で今も心に強くひびいています。

ここにきて私は、何か今までに見た事のないような目新しいものや、珍らしいものを見たわけでは

ありません。でもこの人達を見ていると、生きるってなんだろう。幸せってなんだろう。そんな事を考えずにはいられなくなりまし

た。私はまた身体障害者とは別に社会的に弱い立場であるお年寄の事について考えてみました。私達鶴川内中では、年に二回ボランティア活動として老人ホームである「蓮の実園」を訪ねます。そこには目の見えないお年寄が大勢います。目の見えないという事は私達の想像をはるかにこえる苦しさがある

と思います。試しに目を閉じてみて下さい。普通の人ならせいぜい五分もたつとがまんしきれなくなると

思います。でもこのおじい

さん、おばあさんは一生目の見え

ないまま過すのです。

環境美化標語特選

やめようね

投げすてポイ捨て美化の敵

臨本小 五年 川上真由美

その手と心が作る

きれいな町

鶴川内中 二年 東郷 仁士

▼ポスター特選者

市では、先に市内の小中学生を対象に環境美化に関する「ポスター」

「標語」「作文」を募集しました

ところ、たくさん応募があり、

審査の結果、標語の特選者は前記

の二人、その他は次のとおりです。

▼作文特選者

梶尾美智代(臨本小五年)

佐海洋一郎(鶴川内中二年)



むかしのこどものあそび ④9

「かげえあそび」
隙子にうつして楽しむかげえあそび。十本の指がいぬ、きつね、カニ、とんびと次から次にうつし出され、それがいきいきと動き出す。鳴き声も聞こえてくる。電気を消してローソクの灯でうつす「これなんだ」家族がみんな考え出すかげえ、さあみなさんもいろいろうつしてみよう。



智加ちゃんと野上泰代さん(お母さん)

おかあさん ③1 ありがとう

山下小
野上智加(8歳)

学校から帰ってみると、せんたくをふたり、夕食のじゅんぎをしたりとでもいそがしくはたらいっているわたしの母。それなのに、毎日、たく習の問題を作ってくれます。そして、勉強の間、いつもそばについていてくれます。そのことがとてもうれしいです。「がんばるぞ」という気持ちにもなります。勉強がおわるとまた、大いそぎで家の仕事にとりかかります。いつもあせびつしりです。ほんとうに、お母さん、ありがとう。

農事だより(9月末~10月)

県阿久根農業改良普及所から



収穫も近くなつて来ます。豊作の稲も刈断すると秋ウシカによつて坪枯れが発生しますので、よく見まわりをし、ウシカにはトビノツク粉剤、カメムシにはバイシツト粉剤で防除して下さい。

○甘藷の管理

イモ重が最も大きくなる時期です。イモの葉を大事にしないと収量が減収になります。この時期は葉を食べるナカジロシタバの幼虫が発生しますので、ディブアレッツクス乳剤十倍又は粉剤(1:5)で防除します。

○秋野菜栽培

九月は秋野菜の播種期です。

(1) 葉菜類

小松菜、チンゲンサイは暑さにも強く播種してから一ヶ月以内に収穫できます。播種量は、アール三十ccです。

(2) ハクサイ

早播はアオムシ、シンクイムシなど害虫の発生が多いため適期防除が大切です。品種は無双、ほまれ2号、玉将などがあります。選播は、耐寒性の強い品種として豊風健勝が適品種となっています。

(3) 大根は用途ごとに品種を選びます。

生食用は耐病総太り、漬物用は白秋、八州等の理想系統が適品種です。

○温州みかんの出荷管理
今年、豊作が予想され販売競争が強まる年です。銘柄確立をはかるため出荷規格を厳守しましょう。規格は次のとおりです。
(1) 早期出荷型(十月上旬まで) 着色、二・三分以上、糖度九度以上、クエン酸一・二以下。
(2) 後期出荷型 着色五分、糖度十度以上、クエン酸一・〇以下。
○普通水稲の管理



9月21日~30日

秋の全国交通安全運動が実施されますが、道路を利用される全ての方が次のことを守り、交通事故のない明るい社会を築きましょう。
※ドライバリーの皆さんは
○シートベルト、ヘルメットを正しく着用
○カーブの手前ではスピードを落とす
○飲酒運転は絶対にしてない
○わき見運転はしない(事故原因の中で最も多い)
※歩行者、自転車利用の皆さんは
○道路を横断する時は左右の安全を確認して、道路へのとびだしは絶対にしてない
○走っている車や止まっている車の直前直後の横断はしない
○ブレーキや反射器など、よく整備された自転車を使う

阿久根の民話 65

お姫様と馬方



今日も城の下道を若い馬方が馬の背に荷を乗せ、手綱を調子よく回し、鈴に合わせて馬方節を歌いながら通りすぎて行きました。城の中では、お姫様がきれいな声で馬方節を歌いながら通るのを

いつも待ち焦がれていられた。お姫様は、毎日馬方節を聞いているうちに馬方に会ってみたいとなりました。どんな顔立ちの若者かと、城から出ることもできないで唯馬方節だけが馬につけた鈴の音と一緒に秋風に乗って城の姫のもとに流れて来るのでした。

いつも歌って通る声のよき、声

ねをすることにしました。そうしたら城の外に出られると思ったからでした。姫の悩みを一番よく知っていた乳母に、がんには乳を明けて竹筒を通しておくように伝えました。

その晩十五夜の月が城山に影を映すころ城内の月見の宴は酣でした。山海の珍味のみちたりて皆が寝静まった頃急変が起きました。

（秀逸）
折田 憲司 選

（評）吾々の仲間には老年もおり病気の人もいるが覚悟としては一様に強く敬虔でなければならぬ。その場合世間の風潮に迎合する必要はない。

（佳作）
午後四時に中食すまし病む妻を残して暮の連肥に出づる

図書館だより
今月の新着図書

マデイビット・ハルバースタム
「栄光と狂気」オリンピックに憑かれた男たち」マ九谷才一「鳥の歌」マ赤瀬川集「梶川」行の犯罪」マ唐十郎「フランケンシュタインの娘」マ日野啓三「階段のある心」マ山田詠美「カンツァスの恨」マ連城「紀産」恋愛小説館」マ吉田義昭「思いやり」いのちのスケッチ」マミーア・ピース「思い出のアンネ・フランク」マ鎌田慧「ドキュメント・家族」マ宮迫下鶴「ハイブリッドな子供たち」マ近藤勝重「やすし・きよしの長い夏」大阪狂騒曲」マ胡桃沢耕史「袖ノド捕物帳」マ朝日新聞社編「らくらく減量メニュー」マ毎日新聞社編「ママこうして欲しいの赤らちゃんから」マ朝日新聞社編「石原裕次郎」マ島田「男」城ヶ崎心中」マ村上龍「69」Society・Dime



サークル紹介 47

踊り「あやめ会」

身も心も健康でありたい



昭和五十八年度働く婦人の家の講座からの始まりで、健康のため、若さのため、そして人の和を大切に

導で踊りの練習を行っています。練習は弁当持参で午後からは自分たちだけでおさらいをしますが、弁当を食べながらの楽しい踊りは日々の苦勞も忘れ、心みたされる一時です。

大石先生の手取り足取りの熱心な指導に、なかなか上手にできない私たちですが、楽しく和気あいあいと練習しており、年に二、三回老人ホームや敬老会等で披露し喜んでもらっています。

（代表者 園田ミエ）

愛媛 小島 和子

本町 河南 節子
赤瀬川 海平 三蔵
海老漁の桁打瀬船船ひる有明海の昼流しつか
愛媛 小島幸太郎

阿久根に生きる⑤

湧上 実光さん(60) 山下馬場区



「南国のリンゴ栽培」

新しい特産品づくりにも挑む

昨年の市少年少女弁論大会で当時、山下小学校六年の田原寛くんが「阿久根に新しい特産物を」という題で、リンゴ栽培について熱弁をふるい、広報紙でも紹介しましたが、そのリンゴ栽培に取り組みている湧上実光さんをたずねてみました。

リンゴ栽培のきっかけは、リンゴの花を見たいと約十年前に数本の苗木を買って家の近くに植えたのが始まり。しかし、心のどこかに阿久根でもリンゴは育たないだろう

うかという強い気持ちに引かれ、昭和六十一年に山をきりひらき畑にした所に山形県から取り寄せた七品種、二百二十本の苗木を植樹。

若い頃、気象庁に八年ほど勤務されていたという湧上さんは「リンゴ栽培は年間平均の気温が十九度以上あったらだめですが、阿久根の平均気温は十八・二度ですから大丈夫です」と自信を持って話されます。

苦勞するのはと聞きますと「リンゴ栽培を教えてくれる人がいないので、自分で本を買って勉強をしております、肥料のやり方や剪定時期などに使います」と、その熱心さに感心させられました。

今年二年目は試験栽培であり、来年は商品としてだせるのではと自信にあふれた顔が伺えます。

現在、奥さんのムツさん(55)と二人でとりくんでいますが、商品としてのめどがついたら十年後ぐらいには十倍ぐらいに広げ、阿久根市の特産品となるようがんばりたいと話される湧上さん。

リンゴ栽培にかける湧上さんのすばらしい情熱に心をうたれ、「ぜひ成功してください」と願わずにはいられませんでした。

友だちの輪⑤

弓木野区

落 直美さん(23)

鹿児島製靴株式会社勤務



- 好きなことば 信頼
 - 理想の男性 楽しくて、何事にも一生懸命の人
 - 趣味 読書、カラオケは聞くのが好き
 - 仕事の心がまえ 職場を明るくし、電話の応対など相手の人に不愉快を与えないよう心がけている。
- ※ 友だちを紹介してください。
新町区の小林田悦子さん
次はあなたの出番です。

ハイイ元気だよ



西園 光くん(4) 左
隼人くん(2) 右

西園誠さん(高之口区)の長男・二男

「2人とも元気いっぱいの子どもので、自転車に乗って遊ぶのが大好きです。とにかく元気に素直に育ってほしいと願っています」 恵子さん(お母さん)

誕生

おめでどう

出生児	保護者	区名
湯めぐみ	治男	(濁)
倉津 加菜	信秀	(高之口)
坂上 智美	鉄夫	(荏野)
上園 繁保里	健三郎	(高松)
中野 生浩	浩一	(高之口)
福水 佳織	裕二	(永田上)
牛ノ瀨 那奈	浩一	(牛之浜)
宮下 かほり	涼治	(濁)
樋口 緑	善文	(町)
西ノ原 康平	正二	(牧内)
中部 勇也	勝弘	(高松)
青龍 健太	秋和	(大丸)
的場 弘住	博俊	(牧内)
出畑 優香里	信一	(橋之東)
牟禮 彩香	範隆	(段)
山下 誠士	勲	(大尾)
長野 直樹	勇二	(牧内)
好 良	正孝	(上野)
岩崎 尚也	文吉	(牛之浜)
宮田 亮二	等	(長谷)
水井野 清晃	勇	(尾崎)
下園 康平	和信	(上野)
楠木 進矢	祐一	(一段)
松本 夏生	明美	(瀬之下)
柏木 隆介	良隆	(大林)
宮原 幸恵	洋美	(下村)
早水 将太	豊志	(黒之浜)
畑添 雄輔	喜雄	(桐野上)

在宅医さん

日曜、祭日の在宅医の診療時間は午前9時から午後5時までです。急患の方以外はご連絡ください。

9月27日

有村産婦人内科 734180 (栄町)

林胃腸科外科 736399 (大丸)

平医院 752626 (古里)

10月4日

国立療養所阿久根 71331 (新町)

上野医院 720420 (町)

石原医院 750045 (橋之東)

10月10日 (体育の日)

上園医院 710555 (町)

田中外科 730553 (大丸)

10月11日

脇本病院 752121 (橋之西)

堀切産婦人科 720263 (高松)

10月18日

大塚眼科 720306 (浜)

喜多医院 720038 (大丸)

黒木外科 750200 (下村)

給油所の日曜当番店

9月27日

阿久根市農協 (折口) 713002

阿久根石油 (港町) 724300

10月4日

折口石油 (折口) 750251

阿久根石油 (鶴見町) 720318

10月11日

阿久根市農協 (波留) 720075

10月18日

田野興産 (赤瀬川) 720657

寺下石油 (橋之西) 752077

篤志寄付

次のかたがたから、広報送付のお礼として寄付をいただきました。ありがとうございます。(敬称略)

平木タエ子 (広島県) 相添重雄 (鹿児島市)

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。(敬称略)

ごめいふくを

お祈りします

死亡者 年齢 区名

田原 良和	16 (大尾)	アサ子
石原 只義	78 (大滝)	ヤエ
寺地 壽喜	78 (尻無下)	エイノ
築地 ミツ	93 (中村)	イノ
野中 一	73 (上野)	一正
野畑 フィ	87 (大丸)	前田道治
追 純雄	34 (波留)	スズ子
中川 テル	76 (松ヶ根)	勝
松下貞亀代	84 (尻無上)	ツノエ

佐瀬シズ子 (佐瀬) 上村徳栄 (柞) 築地イノ (中村) 京田藤雄 (瀬之上) 寺地安政 (尻無下) 田原アサ子 (大尾) 迫利春 (波留) 寺地エイノ (尻無下) 柳川貫雄 (永田下) 前田道治 (大丸) 高吉国雄 (佐瀬)

8月の市内交通事故

() は前年 今年計

発生件数 9 (23) 86

死亡者数 0 (0) 0

傷者数 10 (36) 109

消防ミニニュース

8月の火災発生数 () は今年の累計 2 (12)

8月の救急車出動回数 89 (453)

ワンちゃんのひきとり

9月29日

10月6日・15日

午前10時〜10時30分

保健センター

税の相談日

9月21日(月) 午前10時〜午後3時

10月20日(火) 午前10時〜午後3時

▽場所 阿久根商工会議所

年金相談日

9月21日(月) 午前10時〜午後4時

10月20日(火) 午前10時〜午後4時

交通事故相談日

10月8日(木)

午前9時30分〜午後4時

市役所市民相談室

人	□
住民基本台帳人口と世帯数	9月1日現在
	(は8月1日から)
人口	29,386 (-18)
男	13,662 (-11)
女	15,724 (-7)
世帯数	10,260 (-5)

「就業構造基本調査」 に「協力」を

総務庁統計局では、十月一日現在で、就業構造基本調査を実施します。この調査は、国民の皆さんの就業、不就業などの実態を把握して、雇用対策などの行政の基礎資料となる統計を作るために全国的規模で行われるものです。

調査のために、阿久根市では約百五十世帯が統計的な手法によって選ばれます。選ばれた世帯には九月下旬に知事から任命された調査員がお伺いしますのでご協力をお願いします。

テーマ「農業の将来」

論文募集

県土改連設立三十周年を記念して、論文を募集しますので、ふるってご応募ください。

応募要領

▼テーマ 「農業の将来」

▼枚数 四百字詰原稿用紙五枚以上十枚以内

▼提出締切日 十月末日（必着）

▼送り先 〒892 鹿児島市名山町10番22号 鹿児島県土地改良事業団体連合会

企業広報係
※必ず住所、氏名、年齢、職業、連絡先を明記のこと。
優秀作（二点）五万円 入選作（五点）一万円
詳しくは同係まで ☎0999-78236111（内）78

九月は「障害者雇用促進月間」です

国及び県では例年九月を障害者雇用促進月間として障害者の方々の雇用促進運動を展開しています。各種のハンディキャップを有する障害者の方々が働く場を得て社会経済活動に参加し、そこに生きがいを見出し出していくことができるように事業主の皆さんの積極的なご協力の程よろしくお願ひします。

なお、各種雇用助成金制度等の奨励措置もありますので詳しいことは職業安定所でおたずねください。

障害者雇用継続助成金制度について

企業に採用された後、労働災害、交通事故等のため障害者となった

いわゆる、中途障害者の雇用継続をするため、企業が作業施設、設備の改善、職場復帰に当って職場適応措置を行う場合に助成金の支給を行い、中途障害者の雇用の安定、並びに社会復帰に資するため設けられたものです。

▼実施時期 昭和六十二年七月一日、但し、昭和六十二年四月一日から六月二十日までに職場復帰をした、中途障害者も対象。

▼受給申請の期限 中途障害者が職場復帰をした日から三箇月以内、但し、昭和六十二年四月一日から六月二十日までに職場復帰をした者は、六十二年九月三十日まで。

▼受給申請の窓口（社）鹿児島県心身障害者雇用促進協会

鹿児島市長田町一十六五十五ビル四階 ☎099-233715

▼お問い合わせ 受給申請窓口が公共職業安定所阿久根出張所まで ☎33400

簡易保険の郵便年金の制度改正のお知らせ

▼貸付利率 昭和六十二年九月一日以降に受けられる普通貸付は年六・二五％（既に貸付を受けておられる方は、九月一日以降、借り替え等の手続きをされ

ますと新利率が適用されます）
▼特約（昭和六十二年九月一日以降にご加入の特約）
○入院保険金の支払要件 疾病、傷害による入院とともに五日以上。ただし、入院の初日から四日間は支払対象外。

○手術保険金 入院保険金の支払の対象となる入院期間中に一定の手術を受けた時は手術の種類（程度）により入院保険金の十倍、二十倍又は四十倍に相当する額

このほかに特約保険料などもあります。
詳しくは、最寄りの郵便局まで

中小企業で働く方に融資制度の案内

中小企業や商店などで働く皆さんに、労働協（県労働者信用基金協会）の債務保証で生活資金や教育資金、住宅資金など、労働金庫から融資が受けられる制度がありますのでお気軽にご利用ください。

但し、融資を受けられる人は、中小企業や商店などを働いており、同じ職場に三年以上（生活資金の申し込みは一年以上）勤めている人が対象となります。

詳しくは労働金庫出水支店へおたずねください。☎331660

看護婦（臨時）募集 国立療養所阿久根病院

- ▶年齢は問いません
 - ▶募集人員 看護婦若干名
 - ▶待遇 面接などのとき説明
 - ▶採用時期 10月から
- 詳しくは、同病院までおたずねください。☎331331

編集後記

▼今年ほど時の経つのを早く感じました。夏はありませんでした。忙しい毎日だったからでしょうか。いえ、別に仕事だけが忙しかったというのではありません。私事も例年以上に忙しかったように思えます。特に「夏バテを防ぐ栄養会」などが多くあり、冷たいものも多く飲みすぎたような感じがいたします。皆さんはどうでしたか。

▼さわやかな風が吹く秋がやってきました。

健康の汗を流すスポーツの秋でもあります。市民の皆さんも運動して汗を流してみてもどうでしょう。緑いっぱい芝生のきれいな総合運動公園も皆さんが来るのを待っています。夏の疲れをいやす元氣回復の秋にしてください。（英）